

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
1	1-1-①	指定管理施設での幼児や小学生を対象としたスポーツ教室の開催	幼児や小学生を対象としたスポーツ教室を開催し、子どもの体力向上やスポーツに親しむきっかけを作る。	年13教室以上開催	年31教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
2	1-1-①	走り方教室の開催	「放課後子ども教室」の中で児童が正しい走り方を学べる教室を開催し、身体を動かす楽しさを伝えるとともに、スポーツに親しむきっかけを作る。	年18回以上開催	各区の小学校において計17回開催	4	計画通り実施できた。放課後子ども教室の担当から、翌年も再度開催を希望する声が多い。	開催希望が多く、学校ごとの開催回数にばらつきがあるため、不公平なく希望する全ての学校で開催できるように検討していきたい。	スポーツ振興課	2-2-③
3	1-1-①	小学生向け運動遊びリーフレットの配付	子どもたちが自ら進んで遊びやスポーツに親めるよう、楽しく体を動かす運動を紹介するリーフレットを配布する。	市内小学4年生へのリーフレット配布	市立小学校83校 5,038名 国立小学校1校 105名 私立小学校3校 165名 合計87校 5,308名 にリーフレットを配付	5	計画とおり実施できた。	児童が気軽に取り組める環境を作るため、今後はクロムブックを活用した取り組みを検討していきたい。	スポーツ振興課	
4	1-1-①	静岡市立中学校における部活動改革の推進	部活動における課題を解消し、中学生がスポーツや文化芸術に触れる新たな活動の場と機会を確保し、人間の向上と生涯にわたるスポーツや文化芸術に親しむための入口としての役割を担う活動とする。	市立中学校全43校にて実施	市内4クラブにおいて実証事業を実施	5	実証事業を通して、全市展開に向けたスキームを構築するための成果と課題が明らかになった。	部活動をベースとしたスキームからの改変などの抽出した課題を、次年度の実証事業に反映させる。	学校教育課	2-2-①
5	1-1-①	体力向上支援事業	各学校で行われている体力向上のための取組みに、大学教授やスポーツインストラクター等の専門家を派遣して支援する。	・支援回数 年間15回以上 ・支援校からの実績報告の周知及び授業改善への活用	小学校(延べ15校)、中学校(2校)における支援事業の実施	5	専門家による助言等の支援により、どの子も楽しく運動に取り組むことのできる体育授業が行われた。	支援によって得られた知見について、より多くの教員に広めるために、市内各校に向けた周知や体育に関する研修等での周知を実施する。	学校教育課 教育センター	2-2-①
6	1-1-①	「体力アップコンテストしずおか」への参加促進	市内の小学校を対象にし、県教育委員会が主催する「体力アップコンテストしずおか」への参加を促進する。	参加率50%	・参加校11校／86校 参加率12.8%	2	朝の時間や休み時間に運動を行う時間が確保できなくなっているため、参加しようとする学校が減ってきている。	学級単位での参加だけでなく、クラブ活動や任意のグループでも参加できることを周知していく。	教育センター	2-2-③
7	1-1-①	新体力テストの実施	小学3年生から中学3年生を対象に新体力テストを実施する。	体力・運動能力の向上に向けた調査結果の活用	・調査結果と指導の重点をまとめた「授業づくりのポイント」を作成し、各校に周知した。	4	学校訪問で参観した授業の多くは、ポイントを押さえた授業が行われている。	・調査結果を日常の体育的活動に生かしていくことが難しい。 ・各校の好事例を紹介し、よりよい取組を広げていく。	教育センター	2-2-③
8	1-1-②	指定管理施設での働く世代や女性を対象としたスポーツ教室の開催	スポーツ実施率の低い働く世代や女性を対象としたスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の底上げに繋げる。	年4教室以上開催	年12教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
9	1-1-②	勤労者福祉センターにおける フィットネス講座の充実	勤労者福祉センター(ラベック静岡、清水テルサ、 来・て・こ)にて、フィットネス講座等を開催し、働く 世代の健康の増進を図る。	フィットネス講座開催実績 北部:年100講座以上 南部:年30講座以上 東部:年1,000時間以上	北部:166講座 南部:32講座 東部:2588.5時間	5	各館、利用者のニーズに応えた 多様な講座を実施した。 夜間の講座など、勤労者が受講 しやすいような工夫も見られ た。		商業労政課	
10	1-1-③	指定管理施設での高齢者を対 象としたスポーツ教室の開催	高齢者を対象としたスポーツ教室を開催すること で、高齢者の体力づくりや健康増進を図る。	年5教室以上開催	年13教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室 開催を検討しながら、継続して 実施していく。	スポーツ振興課	
11	1-1-③	全国健康福祉祭 (愛称:ねんりんピック) への選手団派遣	高齢者等の生きがいと健康づくりを推進するた め、「ねんりんピック」に出場する選手団を派遣す る。	静岡市選手団派遣の実施 (年1回)	・全国健康福祉祭えひめ大会に 代表選手団を派遣 ・派遣人数134人	5	静岡市選手団の派遣を実施し、 目標を達成することができた。	多くの高齢者から予選会への参 加を募り、予選会を活性化させ るため、予選会を開催する競技 団体へ大会周知を促すとともに 当課としても広報紙などで情報 発信をしていきたい。	高齢者福祉課	
12	1-1-③	しぞ〜かでん伝体操 活動グループ支援事業	静岡市版介護予防体操「しぞ〜かでん伝体操」「し ぞ〜かちゃきちゃき体操」を周知し、住民主体で 取組む活動拠点の立上げを支援する。また、活動 が継続的に取組めるよう体操指導や体力測定等 を実施する。	拠点数の設置(目標総数 R12年度までに210箇 所)	活動拠点数 19箇所増加 5箇所減少 延拠点数 176箇所	4	企業の参画により、活動拠点の 設置が可能となり、新規計画設 置数を大きく上回り評価できる 取組みとなった。	新規活動拠点の設置に向け、自 治会や関係施設への周知等、当 課からアプローチをしていきた い。	地域リハビリテーション推進セン ター	1-2-③
13	1-1-④	指定管理施設での障がいのあ る人も参加できるスポーツ教室 の開催	障がいのある人でも参加できるスポーツ教室を 開し、障がいのある人のスポーツをする機会を創 出する。	年2教室以上開催	年5教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室 開催を検討しながら、継続して 実施していく。	スポーツ振興課	
14	1-1-④	パラバドミントン サポートシティ推進事業	障がいの有無にかかわらず市民の誰もが気軽に スポーツに親しむことができる機会の創出と、共 生社会の理解促進を図る。	年5回以上実施	パラバドミントンスクールキャラ バン 5校で実施 実施校:服織西小 長田北小 清水駒越小 番町小 清水穴原小 パラバドミントン交流会 1回開催 開催日:令和6年2月12日 参加者:21人 会 場:清水総合運動場体育館	5	スクールキャラバンを5校で実 施し、スポーツや障がい者ス ポーツに興味・関心を示す児童 の割合が授業の実施前後で大 幅に増加、障害のある方、障が いについても理解を示す児童が 授業実施前後で大幅に増えて いることから共生社会への理解を 促進する事ができた。	障がい者スポーツ全体の理解促 進、普及促進を進めていくにあ たり、パラバドミントンに限らず パラスポーツ全体で理解促進、 普及促進を進めていく必要があ る。	スポーツ交流課	3-1-②
15	1-1-④	全国障害者スポーツ大会への 静岡市選手団の派遣	障がいのある人を「全国障害者スポーツ大会」に 派遣することで、社会参加を促進し、また障がい 等に対する市民の理解を深める。	年1回実施	特別全国障害者スポーツ大会 「燃ゆる感動かごしま大会」に静 岡市選手団31名を派遣した。	5	障がいのある人(身体・知的)を「全 国障害者スポーツ大会」に派遣し たり、県の大会である「わかふじス ポーツ大会」を開催したりするこ とで、社会参加を促進し、また市民 の理解を深めた。		障害福祉企画課 精神保健福祉課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
16	1-1-④	障がい者スポーツ教室事業	日頃スポーツへの参加が難しい障がいのある人のために、スポーツの経験が少ない人でも取組みやすい、ボッチャやフライングディスク等の体験教室を開催する。	年15回開催 参加者数 600人	【開催数】年15回実施 【参加数】467人	4	計画どおり、15回実施できたが、夏期に参加者の減少が見られ、参加者数は目標を達成できなかった。	これまでの実施内容を分析し、より効果的な開催時期を検討していく。遠隔地への積極的な出張等の企画に取り組んでいく。	障害福祉企画課	2-1-②
17	1-1-④	障害者スポーツ フェスティバル事業	清水区内で3障がいを対象としたスポーツ大会を障害者スポーツフェスティバル実行委員会が開催する。	年1回開催 参加者数 1,000人	【開催】年1回(午前中のみ開催) 【参加者数】525人	3	過去3年間中止したフェスを新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで再開したことは一定の評価ができるが、午前中のみ開催で、参加者は目標の5割となった。	引き続き、感染対策を実施したうえで、多くの人に安心して参加してもらうようにしていく。	障害福祉企画課	2-1-②
18	1-1-④	身体障害者 スポーツ大会事業	葵・駿河区内で身体に障がいのある人を対象としたスポーツ大会を行政と静岡市身体障害者団体連合会が開催する。	年1回開催 参加選手数 160人	【開催】年1回(午前中のみ開催) 【参加選手数】63人	3	参加者の高齢化が進んでおり、参加者人数も減少している。	アンケートをとりながら、共催団体と参加者の期待に沿えるような大会を目指していく。	障害福祉企画課	2-1-②
19	1-1-④	精神障がい者スポーツ交流強化事業	スポーツを通じて、精神に障がいのある人の社会参加を促進する。	年5回開催	0回	1	受託先として想定していた協議会の事務局運営が、コロナ禍の影響もあり、業務の遂行が難しくなったことから、実施に至らなかった。	精神障がい者に精通した受託先の検討を含め、実施できる体制整備を行ってきたい。	精神保健福祉課	
20	1-1-⑤	チャレンジなわとびの開催	自身の体力や能力、年齢に応じて4部門あるテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	年5回以上開催 延べ参加者数 700人以上	6月11日、9月17日、11月5日、1月28日、2月25日(全て日曜日)の計5回開催 参加者延べ 788人	5	計画どおり実施できた。	参加者を増加させるため、葵・駿河区でのなわとびの普及等、実施方法や受験票の見直しを検討していく	スポーツ振興課	
21	1-1-⑤	体力テスト会の開催	自身の体力・運動能力の現状を把握するための体力テストを実施し、健康・体力づくりに役立ててもらえるような機会を提供する。	年1回開催	1回開催 参加者数90人	5	計画どおり実施できた。	県が指定する調査人数156人を達成できるよう、周知方法、開催方法を見直していく。	スポーツ振興課	
22	1-1-⑤	クライミング教室の開催	清水駅東口クライミング場の利用促進を図るため、当該施設の利用登録証を取得できる教室を開催する。	年1回開催	年1回(2期)開催 延べ参加者数 143人 1期目:60人 2期目:83人	5	計画通り実施できた。	クライミング場利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
23	1-1-⑤	「Sport in Lifeプロジェクト」による「する」スポーツの推進	WEBなどを活用し、生活の中で無理なく行える身体活動(徒歩、自転車利用等)の推奨や自宅等で簡単にできる軽運動メニューの紹介等を行い、日常生活にスポーツを取り入れる「Sport in Lifeプロジェクト」を推進する。	継続実施	ウェルネスパーク静岡での健康イベントにおいて、握力測定とチランシの配布を実施した。	3	普段スポーツを行わない人達に向けて、実践を通して意識改革を行うことができた。	自宅で簡単にできる運動メニューの開発と周知を実施し、より多くの市民に向けたアプローチを行っていく。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
24	1-1-⑤	指定管理施設での誰でも参加 できる健康増進教室の開催	参加対象を限定せず、誰でも気軽に参加できる健康増進教室を開催し、市民のスポーツに対するハードルを下げるとともに、スポーツ実施率向上を図る。	年47教室以上開催	年56教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	スポーツ振興課	
25	1-1-⑤	生涯学習施設での スポーツに関する講座の開催	生涯学習施設でスポーツに関する講座を開催する。	無人館を除く 37施設中 34施設で開催	無人館を除く37施設中32施設で実施。	4	目標値には届かなかったが、各館で各種多様なスポーツに関する講座を実施した。		生涯学習推進課	
26	1-1-⑤	東静岡アート&スポーツ／ヒ ロバの運営	若者から特に人気の高いローラースポーツのすそ野を広げるため、初心者や未経験者が楽しむことのできるイベント等を開催する。	イベントの開催	・スケートボード、BMX、インラインスケートの3ジャンルで毎週初心者向けスクールを開催 ・年4回無料体験会を実施 ・その他スケートボード、BMXの全国大会を開催	4	3ジャンルの初心者向けスクールを継続して実施したため、初心者、未経験者のすそ野拡大に寄与した。	今後も継続して各種スクールを開催するとともに、無料体験会や見ることから始めるきっかけをつくる全国大会誘致などさらなるすそ野拡大に向けて取り組んでいく。	企画課	2-1-①
27	1-1-⑤	スポーツ インストラクターの派遣	市の機関等からの依頼により、地域施設等でのスポーツ教室へインストラクターを派遣することで、体を動かす楽しさを伝える。	派遣先5か所以上	・15か所(提供内容は19教室) インストラクターを派遣 ※1箇所で複数教室の依頼あり ・実施回数は計145回	5	派遣依頼については、前年度からの継続依頼が大半であり、インストラクターの指導内容等に満足いただけている。	令和5年度から行っている、市教委が推進する「放課後子ども教室」へのインストラクター派遣を継続していきたい。	静岡市スポーツ協会	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目 安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携
基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
28	1-2-①	区民体育大会の開催	各区において、学区・地区対抗のニュースポーツ大会や運動会を開催し、スポーツ振興や地域コミュニティの活性化を図る。	延べ参加者数 9,900人以上 ・葵区 4,500人以上 ・駿河区 2,000人以上 ・清水区 3,400人以上	延べ参加者数 ・葵区 3,486人 ・駿河区 146人 ・清水区 953人	3	駿河区は雨天により中止、清水区は5年ぶりの開催となり、事業の周知不足及び半日開催により、参加者数が目標値を大幅に下回った。	大会開催に向けた事業の周知を行い参加者数増加を目指す。	スポーツ振興課	2-1-②
29	1-2-①	スポーツ推進委員と協働でのニュースポーツ体験会の開催	だれもが気軽に参加できるニュースポーツの体験会を開催する。	・チャレンジスポーツラリー年1回開催 ・チャレンジスポーツDAY各区1回以上開催	①チャレンジスポーツラリー参加者数 232人 ②チャレンジスポーツDAY 葵区 104人 駿河区 269人 清水区 102人 合計 475人	5	計画とおり実施できた。	参加者を増やすため、チラシ配架等の広報活動を行う。また、ニュースポーツに関わらず民間企業と協同し、参加者の興味をひくようなブースの設置を行う。	スポーツ振興課	1-1-⑤
30	1-2-①	スポーツ推進委員によるコーディネーター活動に対する支援	スポーツ推進委員主催による大会や地域スポーツ振興に係る事業実施の連絡調整を支援する。	スポーツ大会やイベントへの参加者数 1,000人以上	チャレンジなわとび 725人 市民交流ディスコン大会 104人 葵区ファミバド・ディスコン大会 191人 駿河区ファミバド交流大会68人 駿河区ディスコン・ラダゲッター大会 64人 清水区ビーチボール大会 67人 清水区キンボール大会 52人 合計1271人	5	スポーツ推進委員から各学(地)区住民への周知がうまくいった。	スポーツ推進委員の指導技術向上を図り、継続し手実施していく。	スポーツ振興課	2-1-②
31	1-2-②	総合型地域スポーツクラブの活動支援	クラブの紹介チラシ及びホームページを作成し、活動内容を周知する。また、クラブの指導者によるスポーツ教室の開催や指導者の派遣を行う。	・合同イベント年1回開催 ・スポーツ教室年5回以上開催	スポーツ教室 年6回開催	4	合同イベントの開催がクラブの支援に繋がっていないため、5年度から開催を中止した。スポーツ教室は概ね計画通り開催した。	クラブの指導力向上、育成のため、スポーツ教室の開催を支援していく。	スポーツ振興課	2-1-②
32	1-2-②	民間事業者と連携したスポーツイベントの実施	民間事業者と連携して各種スポーツイベントを開催するとともに、民間事業者による公共施設を活用したスポーツの推進に係る事業の実施を促進する。	随時開催	民間事業者と連携したスポーツイベント1回開催	4	SPOPIAシラトリと「金哲彦ランニングクリニック」を令和5年9月30日(土)実施	イベント数を増やし、より多くの市民が参画できることを目指していく。	スポーツ振興課	2-1-②
33	1-2-②	職場における運動・スポーツの普及促進	企業の福利厚生事業等へアプローチを行い、職場内におけるスポーツの実施を促す。	継続実施	健康づくり推進課から発送する各保険者(40社)宛ての郵便物に、スポーツ・イン・ライフの啓発やLINEの友達登録を促すチラシを同封し、スポーツの普及を図った。	4	チラシの配布等にとどまってしまうため、直接的なアプローチができなかった。	企業が福利厚生として取り組めるようなイベントの実施や職場でできる運動メニューの紹介等を行いたい。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度（基準）					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目 安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携
基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
34	1-2-②	地域団体との 連携イベントの開催	地域団体と連携し、スポーツ以外の要素を取り入れたイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年5回以上開催	・年10回の開催 ・参加人数 2,090人	5	コロナ禍で中止、縮小していたイベントも、実施内容の見直しを行い、地域団体と連携し、実施できた。	施設の認知度向上を目指し、地域の魅力を発信できるよう、地域資源を活かした事業を展開していく。	静岡市 まちづくり公社	
35	1-2-②	総合型地域スポーツ クラブとの連携事業	スポーツ施設と総合型地域スポーツクラブと連携したイベントを開催する。	年2回以上開催	・年2回の開催 ・参加人数 420人	5	プロチームも使用する清水庵原球場、蛇塚スポーツグラウンドを利用した連携事業を実施することで、総合型地域スポーツクラブの活動支援ができた。		静岡市 まちづくり公社	2-1-②
36	1-2-②	企業等との協同事業	企業等と協働したスポーツ教室を開催する。	年1回以上開催	・年8回の開催 ・参加人数 1,402人 新たに、静岡ブルーレヴズ、80スキップとの協働事業を3施設で3回実施。	5	新たに静岡経済同友会静岡協議会「テイクオフ静岡」の採択事業である「80スキップ」事業と連携した事業を行い、小学生からトップチームまで幅広い層に対して、科学的な視点での運動能力を把握できる場が提供できました。	企業等の協働開催により、魅力的で専門的な教室開催ができるよう企業等の連携を図っていく。	静岡市 まちづくり公社	1-1-⑤
37	1-2-③	元気静岡マイレージ事業	参加者が健康づくりの取組目標を設定し、目標達成によって貯めたポイントで県内の協力店で利用できる「ふじのくに健康いきいきカード」を取得したり、様々な賞品が当たる抽選にチャレンジできる。参加者が自ら健康づくりに取組むことを通じて、市民が運動習慣を身につけるきっかけを作る。	①参加者数900人 (令和6年度から) ②働き盛り世代(30～50歳代)の参加者の割合35%以上	① - ②働き盛り世代(30～50歳代)の参加者の割合45.7%	5	目標を上回って実施できた。働き盛り世代の取組を拡大するため、市内の企業に働きかけ参加につなげた。	引き続き、働き盛り世代の参加拡大の他、コロナ禍以降参加者が横ばいのため、増加に向けた周知拡大。	健康づくり推進課	
38	1-2-③	自転車の利用促進	自転車に関連した参加型・体験型イベントを開催し、参加者の自転車利用を促進することで、市民が日常で気軽に運動を取り入れるきっかけを作る。	年1回開催	・年1回開催 ・来場者数約1,000人 ・市内各所イベント等へのブース出展によるPRの実施	5	目標達成に加え、主催のイベント以外でも機会をとらえ自転車推進、PRを行った。	・イベント実施の効果が見えずらい。 ・民間の活力を取り入れ、民間主体のイベント(自転車利用促進施策)実施を推進していく。	交通政策課	
39	1-2-③	スポーツ施設における 他分野のイベントの開催	スポーツ施設にてスポーツ以外の分野のイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年8回以上開催	・年10回の開催 ・参加人数 359人 新たに、ドローン講習会、防災講習会を開催。	5	ドローン講習会や防災講習会など、時代に合わせた事業を新規開催するなど、日頃スポーツをされない方にも施設を知っていただくきっかけとなり、利用促進が図れた。	スポーツと他分野を関連づけた取組により、施設の認知度向上を目指す。	静岡市 まちづくり公社	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
 施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり
 基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
40	2-1-①	スポーツ施設改修事業	静岡市スポーツ施設配置適正化方針による個別施設計画に基づく改修を行い、施設の長寿命化を図る。	計画的な改修の実施	継続して実施	3	総合計画への登載に向けて、要求を実施したが、事業化に至らなかった。	要求内容を精査のうえ、総合計画への登載を要求していく。	スポーツ振興課	
41	2-1-①	学校等体育施設利用事業	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	延べ利用者数 210万人以上	利用者数1,932,798人	4	目標人数は達成できなかったものの、目標人数の約92%の利用実績であったため。	市内小中学校において、統廃合が進んでおり、関係課や既存利用団体との調整が必要となる。	スポーツ振興課	
42	2-1-①	グラウンド夜間照明の保守・点検	学校グラウンド夜間照明施設等の球切れ、照度、不具合などに対して、確実な点検及び適正な修繕を行う。	保守点検 年1回 修繕および不具合への対応は通年(随時実施)	保守点検 各施設1回実施 修繕 随時実施	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	
43	2-1-①	アリーナ整備促進事業	交通利便性が高いJR東静岡駅北口市有地において、トップレベルのスポーツの観戦等ができるアリーナ整備を促進する。	アリーナ整備の促進	・市場調査の実施 ・アリーナ整備調査・検討業務及び公共交通影響調査・検討業務の実施 ・市長と地元代表の意見交換の実施	5	・市場調査により、アリーナの事業性や参画条件等に関し、民間事業者の様々な意見が得られた。 ・調査・検討業務により、イベント時に想定される公共交通(JR・静岡鉄道)への影響や、アリーナの運営時の収益、経済効果等を確認した。 ・市長と地元代表との意見交換により、今後、基本計画策定を進めることについて、地元合意が得られた。	・まちづくりに関する基本構想を策定し、市民の理解を高めていく必要がある。 ・民間事業者との意見交換等を通じ、民間事業者の参画意欲を高める事業手法を定める必要がある。 ・周辺道路の現状の渋滞対策を進め、地元住民の渋滞に対する懸念を払拭する必要がある。	アセットマネジメント推進課	
44	2-1-①	サッカースタジアムによるまちづくり検討事業	本市のまちづくりにとってふさわしいスタジアムのあり方に係る調査・検討を実施する。	本市のまちづくりの方向性に合わせた整備の推進	3/26に「JR清水駅東口のまちづくりのための土地利用条件整理の最終報告」を行った	5	スタジアム整備の最有力候補地における土地利用条件整理や現スタジアム大規模改修時金額を参考値として对外公表できたことは一定の評価ができる	熟度を高めていくための取組として、事業計画案(※)の作成が必要 ※事業概要、スケジュール、財源確保、関係者調整等	企画課 スポーツ交流課	3-2-①
45	2-1-①	生涯学習施設におけるスポーツ活動団体への貸館の実施	生涯学習施設でスポーツ活動を行う団体への貸館を実施する。	無人館を除く37施設で実施	無人館を除く37施設で実施した。	5	例年通り、貸館を実施した。		生涯学習推進課	
46	2-1-①	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家トレイルランニングコースの整備	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟氏監修によるトレイルランニングコースを定期的に整備する。	トレイルランニングコースの整備	・トレイルランニング全コース(4・8・12・30km)の整備点検を実施した。	5	・4月のコースオープン前と12月のコース閉鎖後に重点整備を行うと共に、オープン期間中は定期的に整備を実施できた。		教育総務課 (南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家)	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備

施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり

基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
47	2-1-①	登山道の維持管理	南アルプス登山道の整備を行い、登山者の安全を確保する。	登山道の整備	①赤石岳ヘリピックアップポイント整備 ②茶臼岳登山道被災箇所復旧	5	①整備完了 ②台風被災箇所を応急対応し、山開き前までに登山可能な状態に復旧完了	登山道は倒木やザレ等、再整備を繰り返すため、常に同様な箇所の維持管理を要することを理解する必要がある。	中山間地振興課	
48	2-1-②	市内高校野球大会の開催	市内高校の競技力向上とチーム間の交流を深めることを目的に、トーナメント戦を開催する。	年1回開催	年1回開催	5	計画とおり実施できた。	令和5年度(第20回大会)で、補助金交付を終了。高野連を主体とした実施を検討している。	スポーツ振興課	1-1-①
49	2-1-②	高校野球における静岡市・甲府市連携交流事業	静岡市・甲府市連携交流事業の一環として、両市の市立高校の交流試合を実施することにより、青少年の交流を深める。	年1回開催	年1回開催	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-①
50	2-1-②	市民スポーツ大会の開催	年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう、様々な種目を競技するスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ普及や競技力向上を図る。	年30回以上開催(各競技1回以上) 延べ参加者数 40,000人以上	年27回開催 延べ参加者数33,764人	4	感染症の影響により一部の大会が中止となったが、概ね計画通り実施できた。	継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤
51	2-1-②	ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進委員と共催でウォーキングイベントを開催する。	年2回開催 参加者数 400人以上	年1回開催 参加者数34人	1	清水区スポーツ推進委員会と3月にさくらウォークを開催した。一方、1月の蒲原ニューイヤーウォークが雨天中止となった。	各区スポーツ推進委員と調整し、年2回開催を目指す。	スポーツ振興課	1-1-⑤
52	2-1-②	蒲原ニューイヤーウォークの開催	蒲原市街地から富士川地区、由比地区を回る、蒲原ニューイヤーウォークを開催する。	年1回開催 参加者数 250人以上	荒天のため中止	3	荒天のため中止	コースの見直しを検討し、継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤
53	2-1-②	佐久市とのスポーツ親善交流事業	友好姉妹都市である佐久市の市民との交流スポーツイベントを開催する。	年1回開催 ※開催地は輪番制	年1回開催 (R5は佐久市で開催)	5	平成27年度以来、8年振りに佐久市で開催できた。 婦人バレー、壮年ソフト、少年野球の3種目で開催した。	選手が参加しやすい環境を整え、継続して実施していく。	スポーツ振興課	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備

施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり

基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
54	2-1-②	障がい者スポーツへの 理解促進	障がい者スポーツを体験できる場を設けたスポーツイベントを開催することで、障がい者スポーツに親しむきっかけを作るとともに、誰もが楽しめるスポーツであることを知ってもらう。	年1回以上開催	2回実施	5	・障がい者スポーツ体験 11月5日(日)に清水区チャレンジスポーツDAYにおいて、(社福)静岡市しみず社会福祉事業団みなとふれあいセンターと協働し、障がい者スポーツ体験を実施した。 ・障がい者との交流 11月30日(木)に第18回静岡県身体障害者フライングディスク大会にスポーツ推進委員を審判員等として派遣し、障がい者との交流を行った。	令和6年度から、障がい者スポーツ分野がスポーツ振興課に移管されたことにより、既存のスポーツ振興事業について、障がいのある方が参加できるよう、見直していく。	スポーツ振興課	
55	2-1-②	市民ウォーキングの開催	市民ウォーキングを開催し、市民の健康増進や交流を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・田貫湖周辺コース約10km ・バスツアー形式 ・参加人数113人 ・静岡市山岳連盟と連携	5	・定員120人のところ申込人数は213人であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。		静岡市スポーツ協会	1-1-⑤
56	2-1-②	スポーツ講演会の開催	著名なスポーツ選手や指導者を招き、スポーツをテーマとした講演会を開催することで、市民へのスポーツ普及啓発や競技力向上、指導者の指導力向上等を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・講師 谷本道哉 氏 ・演題 「1日たった5分！簡単筋トレで健康ボディを手に入れよう」 ・聴講人数300人	5	・申込人数は404人で、来場率は例年並みの約74%であった。 ・アンケート結果は良好であり、事業の目的が達成された。	スポーツをあまり行わない層にも講演会に足を運んでももらえるよう、講師の人選をしていきたい。	静岡市スポーツ協会	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備

施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり

基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
57	2-2-①	スポーツ指導者スキルアップ 講習会の開催	大学教員や医師、インストラクター等を招いて、スポーツ指導者を対象に基本的な指導方法や指導に対する心構えなどの習得を支援し、スポーツ指導者の資質向上を図る。	スポーツ指導者スキル アップ講習会 年6回開催	年6回開催(10月、11月) 延べ参加者156人	5	計画とおり実施できた。	参加したくなる科目を検討し、 継続して実施していく。	スポーツ振興課	
58	2-2-①	学校プール監視員 講習会の開催	学校等体育施設利用事業において、プールの正しい利用方法と、利用に際しての対応方法や知識を身につけるための講習会を実施する。	年1回実施	年1回開催(6月)	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。監視員 証携帯の現地確認等を行いなが ら、引き続き安全にプールが 利用できるような支援を行って いく。	スポーツ振興課	
59	2-2-①	生涯学習施設での スポーツ指導者を 養成する講座の開催	生涯学習施設でスポーツ指導者を養成する講座を開催する。	年1講座以上の 開催	年1講座実施。 修了人数5人	5	駿河生涯学習センター「運動で つながる～スキルを活かそう ～」において、運動指導のスキ ルを持つが、それを活かす企画 と機会のない人材向けに講座開 催した。		生涯学習推進課	
60	2-2-①	体育・保健体育科の 授業づくり研修会の実施	スポーツ庁主催の研修会に参加した教諭が講師となり、教員を対象に授業づくり研修会を実施する。全ての児童生徒が、体を動かす楽しさを味わい、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けることができるような体育・保健体育の指導の在り方を学ぶ。	課題改善および授業改善 に向けた研修内容の設定	研修会の実施2回 参加者(満足度%) 小学校57名(満足度4.72) 中学校22名(満足度4.86)	4	・令和4年度と比較し、小・中学校ともに満足度が高まり、充実した研修会が行うことができた と評価できる。 ・日程の関係もあり、参加人数が令和4年度より減ってしまった。	・体づくり運動・表現運動・柔道・ 保健と教員が指導に苦手意識 を抱きやすい領域の研修会を開 催する。 ・夏季に行うため、熱中症対策 を万全にし、空調設備の整った 会場で実施していきたい。	教育センター	1-1-①
61	2-2-②	ボランティア情報の提供	静岡市のホームページ等を活用して、スポーツ大会やイベント等のボランティア情報を提供する。	継続実施	スポーツ推進委員に各種イベントのボランティア情報の提供 を行った。	3	スポーツ推進委員に対しての情報提供は行ったものの、市民に 広く周知することはできなかった。	ボランティアが必要なイベント があった際は市ホームページに て、広く情報提供を行う。	スポーツ振興課	
62	2-2-②	バルちゃんクラブの 活動支援	エスパルスの安定的な活動を下支えるため、エスパルスホームゲーム運営ボランティア「バルちゃんクラブ」の活動を支援する。	延べ900人以上 活動	シーズンを通じて延べ1046人 が活動した。	5	活動人数だけでなく登録団体数 も6→12団体と増えており、 ホームゲーム運営の支援が充実 している。	近年、猛暑の中での活動になる ことが増えているため、スタッフ の健康管理についてケアしてい く必要がある。	スポーツ交流課	3-2-②
63	2-2-③	国際大会等出場報奨金	国際大会や国民体育大会への出場選手(市内在住、在学)が所属するスポーツ団体や学校に対して報奨金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	報奨金交付件数 15件	16件	5	目標交付件数を達成することが できた。	申請件数が伸びるよう広く周知 していく。	スポーツ振興課	1-1-①
64	2-2-③	全国大会出場補助金	全国大会に出場する学生(市内在住、在学)に補助金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	補助金交付件数 150件	200件	5	市内小・中・高校・大学、各競技 団体が集まる会議にて事業の周 知を図れたことで、ほとんど漏 れがなく遂行できた。	申請件数が伸びるよう広く周知 していく。	スポーツ振興課	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備

施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり

基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
65	2-2-③	障害者スポーツ国際競技大会 出場報奨金	障がい者スポーツの振興並びに障がい及び障がい者に対する市民の理解の促進を図るため、障がい者スポーツの国際競技大会に出場する者に対し、報奨金を交付する。	継続実施	・AMP FUTBOL CUPヴィシー2023 ・Virtusグローバルゲームズ ・第2回アジア太平洋ろう者フットサル選手権大会 ・第20回冬季デフリンピック ・杭州2022 アジアパラ競技大会 各々への参加選手に報奨金を交付した。	5	出場のあった選手に報奨金を交付することで、障がい及び障がい者に対する市民の理解の促進に寄与した。		障害福祉企画課	1-1-④
66	2-2-③	指導者マッチング制度の運用	指導者を探している団体等に対し、適切な指導者を検索し紹介する。	マッチング成功率 70%以上	成功率100% (依頼1件中 成功1件)	5	・依頼は1件のみであったが、希望に沿った指導者を紹介することができ目標を達成した。		静岡市スポーツ協会	2-2-①
67	2-2-③	ジュニア層育成補助事業	ジュニア層(小中学生)を対象とした種目別講習会等の開催に対して補助金を交付し、競技人口の拡大や技術力の向上を図る。	10種目以上実施	・10種目の実施(申請12種目) ・実施:山岳・水泳・バレーボール・スケート・バスケットボール・テニス・相撲・ラグビーフットボール・サッカー・空手道 ・中止:卓球・野球	5	・申請があった12種目の内、2種目が諸事情により中止となった。 ・各種目において実施目的を達成した。		静岡市スポーツ協会	2-2-①
68	2-2-③	表彰式の開催	静岡市スポーツ協会の表彰規定に基づき、功労者、優秀指導者、優秀選手及び優秀団体を表彰する。	年1回以上実施	・1回開催 ・功労章 15名 ・優秀指導者章 30名 ・優秀選手章 20名	5	・永年にわたる、スポーツの普及・振興への貢献や国際大会での顕著な成績など、様々な面から静岡市のスポーツ文化の向上に寄与された方々を表彰した。		静岡市スポーツ協会	2-2-①
69	2-2-③	スポーツクリニックの開催	プロや実業団チーム等がキャンプ合宿に来静した機会をとらえ、スポーツクリニックを開催し、少年少女への指導を実施する。	年1回以上開催	年1回の開催	5	東京羽田ヴィッキーズの協力により、バスケットボールクリニックを開催し、トップ選手から直接のアドバイスをもらえる機会を創出した。	バスケットボールだけでなく、多 種目のクリニック開催を検討。	静岡市 まちづくり公社	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
70	3-1-①	全国少年少女草サッカー大会の開催支援	全国少年少女草サッカー大会の開催を支援するほか、大会参加者へ「サッカーのまち静岡」の情報を発信する。さらに、大会の開催を通じて、小学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深める。	市外からの参加者の割合80%	市外からの参加者割合82.8%	5	男女152チーム中、126チームが市外チームの参加となり目標を達成することが出来た。	令和6年度より8月に開催していた大会を熱中症になる選手・観戦者がいたため、体調面を考慮し大会開催日を12月に変更した。令和7年度以降の大会運営等について、今年度の大会開催状況を鑑み検討する必要がある。	スポーツ交流課	1-1-①
71	3-1-①	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会の開催支援	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会に助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ「スポーツチャンバラ発祥の地 由比」の魅力を発信する。大会の開催を通じて、誰もが楽しめる生涯スポーツとしてスポーツチャンバラの普及、啓発を図る。	大会参加者及び来場者数300人以上	大会参加者及び来場者数455人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、選手253人、保護者・役員等202人の計455人の参加があり、実施目標を達成できた。	一般財団法人地域活性化センターからの補助金が令和6年度実施事業までとなる。そのため、令和7年度以降の大会実施に向けて、自立した大会運営できるように、実行委員会へのアドバイス等のサポートを行っていく必要がある。	スポーツ交流課	1-1-①
72	3-1-①	静岡野球ウィークの開催支援	静岡野球ウィークに助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ静岡市の情報を発信する。大会の開催を通じて、中学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深めるほか、市民の野球熱向上を図る。	市内延べ宿泊者数2,500人以上	市内延べ宿泊者数3,200人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、市内延べ宿泊者数が目標を上回る事ができた。	令和6年度から、開催地が変更となるため、事業自体が令和5年度で終了する。	スポーツ交流課	1-1-①
73	3-1-①	全国大会等の開催支援	多くの来静者が見込まれる全国大会等が市内で開催される際に、会場や補助制度の紹介等の支援を行うほか、大会参加者、観戦者へ静岡市の情報発信を図る。	開催支援 随時実施	第15回西日本古希軟式野球大会開催	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、大会公式プログラムへ静岡市の名所の掲載、観光情報を大会参加者、観戦者へ配布することで静岡市の情報発信を図る事ができた。	令和6年度は、9月に全日本軟式野球大会(天皇杯)、12月にパラバドミントンの日本選手権が開催されるが、引き続き静岡市内で全国大会が開催されるように関係団体等と調整を図る必要がある。	スポーツ交流課	1-1-⑤
74	3-1-①	静岡マラソンの開催支援	静岡マラソンに助成し、開催や参加者増の取り組みを支援するほか、大会参加者へ静岡市の情報を発信する。また、市民ランナーへ大会出場機会を提供する。	フルマラソンに参加する 県外及び海外ランナーの割合 前年度増	・静岡マラソン2024大会 開催日 令和6年3月10日 フルマラソン参加者割合 全体 12,006人 県外(海外含む) 7,086人(59.0%) 海外 658人(5.5%)	4	コロナ禍を経て、2019大会以来5年ぶりに2024大会を開催した。5年前の2019大会のフルマソンの県外(海外含む)参加者は62.1%(A)に対し、今大会実績は59.0%(B)で95.0%(=B/A)に留まったため、達成度合いは4とした。	5年ぶりの開催で準備期間が不足し、周知・PRを十分にできなかった。今後は、県内は新聞、テレビ等のマスメディアによりランナー以外の市民も含めて広く周知するとともに、県外・国外はSNSや雑誌などによりランナーに的を絞って効果的な情報発信に取り組み、参加者増加を図る。また、2024大会での参加者やスタッフ等関係者の声を基に改善し、本市の魅力を活かした大会にしてい	スポーツ交流課	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
75	3-1-①	清水マリンフェスティバルの 開催支援	清水マリンフェスティバルに助成し、開催を支援 することで、海洋スポーツの振興及び普及を図 る。	大会参加者及び来場者数 1,200人以上	・開催日 令和5年7月16日 ・大会参加者及び来場者数 1,600人	5	コロナ禍を経て、4年ぶりの開 催となったが、補助金交付事務 処理の円滑な実施、大会開催の 円滑な運営支援について、滞り なく実施できた。 また、大会参加者及び来場者数 が実施目標を上回ることがで きた。	大会が成功した一方で、使用す るレガッタの老朽化や台船、運 搬トラック等の賃借料の高騰、 大会を運営する担い手や参加 チームの減少などの問題点が明 らになった。大会継続可否も 含めた運営体制を実行委員会 で検討していく必要がある。	スポーツ交流課	1-1-⑤
76	3-1-①	合宿の誘致及び受入	主に国内における各種競技のトップチームを対象 として、合宿の誘致活動の実施及び受入時の支援 をすることで、継続的な合宿の受入を目指すこと もに、地域経済の活性化を図る。	合宿受入件数 年3件以上	合宿受入件数 年1回	4	成果指標の、国内代表クラスの 合宿受入件数は1件となった が、国外から台湾陸上代表チ ーム、アメリカアーティスティック スイミングの代表チームが合宿 を行ったため、合宿受け入れ件 数としては目標を達成した。ま た、活動指標の誘致活動におい ては、目標値を超える4件の誘 致活動を実施した。	代表クラスの合宿の誘致は継続 して行っていくが、それ以外の 合宿受け入れについて、静岡県 スポーツコミッション担当室や、 施設の優先予約について市内 各施設と連携し誘致を推進して いく必要がある。	スポーツ交流課	
77	3-1-②	台湾スポーツ交流事業	台湾との高校生陸上相互派遣などにより、選手の 競技力や指導者の資質の向上を図る。また、異文 化への理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成す る。	年2回以上実施	・台湾陸上協会代表選手合宿受 入 受入期間:令和5年5月29日～ 6月18日 受入人数:28人(選手17人、 コーチ等11人) ・台湾陸上協会との青少年交流 事業 派遣期間:令和5年10月31日 ～11月4日 派遣人数:13人(コーチ2人、 選手10人、市職員1人) ・台北マラソン交流 日程:令和5年12月15日～18 日 訪台者:静岡市訪問団 35名	5	・台湾陸上協会代表選手合宿受 入に伴い、トップアスリートの練 習の見学や直接指導を受けたこ とにより、選手の競技力や指導 者の資質の向上を図ることがで きた。 ・静岡市が派遣した高校生が、 陸上競技だけでなく現地高校性 と交流し、台湾文化への興味・ 関心を高める事ができた。 ・台北マラソン交流により、静岡 市と台北市の更なる友好を深め ることができた。	「静岡市及び台北市スポーツ交 流に関する覚書」の有効期限が 令和6年(2024年)まで、「静 岡市及び台湾陸上協会間の協 力に関する覚書」が令和7年(2 025年)までとなっているた め、締結期間終了後の方針を決 定し、令和7年度以降の取組み に反映する必要がある。	スポーツ交流課	2-2-③
78	3-1-②	ホストタウン相手国・地域等の トップアスリートとの交流	ホストタウン相手国・地域等のトップアスリートと の交流事業を通して、スポーツへの関心の向上を 図る。	合宿受入れ時に練習見学 会等の交流事業を実施	静岡市内で合宿中の台湾陸上 協会代表選手による「走り方教 室」の実施 開催日:令和5年6月16日 参加者:選手6人 清水小学校児童15人	5	清水小学校の体力テスト前日に 選手から専門的なアドバイスを 受けたことにより、児童のス ポーツに対する関心が高まっ た。	「静岡市及び台湾陸上協会間の 協力に関する覚書」が令和7年 (2025年)までとなっているた め、締結期間終了後の方針を決 定し、令和8年度以降の取組み に反映する必要がある。	スポーツ交流課	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進

基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
79	3-1-③	葵区魅力づくり事業 (スポーツイベントの開催支援)	地域が主体となり実施するスポーツイベントなどの開催を支援することで、市内外の参加者に葵区の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	地域の要請に応じて実施 (年3回実施)	・健康卓球教室 1回 (参加人数22人) ・スポーツを活用した地域交流 拠点整備 1件 ・葵区自治会連合会における先進事例の視察 1回	4	申請ベースでの取組のため、スポーツイベントの開催支援は、健康卓球教室1件のみとなったが、スポーツを楽しめる地域交流拠点の整備を実施したほか、葵区自治会連合会の視察研修において、先進事例の視察をおこなうなど、機運醸成に向けた取組を実施したことは、一定の評価ができる。	新規イベント開催に向け、自治会連合会への周知等、当課からアプローチしていく。	葵区役所 地域総務課	1-2-②
80	3-1-③	井川ならではの自然環境を活かした主催事業	井川ならではの自然環境を活かしたキャンプやハイキング、トレイルランニング、スキー教室などを開催し、四季を通じて参加者がスポーツに慣れ親しむ機会を提供する。	応募率100% 年間7回以上実施	・応募率 178%(参加者517名) ・年間8回計画 8回実施 トム・ソーヤ チャレンジキャンプ トム・ソーヤ オータムキャンプ トム・ソーヤ スキーキャンプ トム・ソーヤ ウィンターキャンプ 井川de紅葉狩り 井川deスキー&雪遊びⅠ 井川deスキー&雪遊びⅡ 井川deトレラン&夏体験	5	トム・ソーヤ事業を中心に応募が多数集まり、天候や交通状況による主催事業の中止もなかったため、目標値を上回った。		教育総務課 (南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家)	
81	3-1-③	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家 トレイルランニングコースの活用推進	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟氏監修によるトレイルランニングコースの活用を推進する。	コースを活用した主催事業の実施及びコースの一般開放	・主催事業「井川deトレラン&夏体験」の実施 応募率310%(参加者62名) ・4月～11月のトレイルランニングコース開放(4・8km) ・5月～10月のトレイルランニングコース開放(12・30km)	5	・トレイルランニングコースを活用した主催事業を日帰り開催にしたことで、応募が多数集まった。 ・整備を定期的に行ったことで、冬季期間以外はコースの一般開放ができた。		教育総務課 (南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家)	
82	3-1-③	和田島の自然環境を活かした主催事業	夏の和田島ならではの自然環境を活かした沢登り、ハイキングなどに慣れ親しむ機会を提供する。	応募率100% 年間1回以上実施	廃止		和田島自然の家の閉鎖のため、 和田島での主催事業を廃止。		教育総務課 (南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家)	
83	3-1-③	オクシズスポーツ ツーリズム促進事業	オクシズの地形や地域資源を活用したスポーツイベントなどの開催を支援することにより、広く市内外に向けて中山間地域の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	参加者数(交流人口) 650人/年	両河内口ゲインिंग74人 両河内バイオロゲインING25人 水見色トレラン29人 井川マウンテンマラソン185人 大会参加者 計 313人	3	従前の規模での大会開催には至らなかったが、補助金交付により前年度よりバイオロゲインING1回、トレラン1回を多く実施できた。	参加人数を増やすため、スポーツや中山間地を志向する層に効果的に周知できるよう、チラシの設置場所や広報媒体を増やす。	中山間地振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度				担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容		
84	3-2-①	大学野球オータム フレッシュリーグin静岡	市民野球熱の醸成に向け、東京六大学野球等国内 トップレベルのプレーを市民が間近で観ることが でき、また地元大学・高校の野球部との交流試合 や、子どもたちへの野球教室の開催等を行う大会 の開催を支援する。	年1回開催	・開催日 令和5年11月24日～ 26日(3日間) ・参加校(大学12校、高校5校) ・来場者数 草薙球場:2205人 ちゅ～るスタ:1242人 西ヶ谷球場:1026人	5	来場者数が昨年度よりも増加し た。例年行っている地域活性活 動に加え、今大会から新たに学 生の人材育成というテーマも取 り入れており、年々、魅力的な 大会が実施できている。	大会が自走していけるよう実行 委員会に「安定した運営に必要 な収入の確保」を働きかけてい く。	スポーツ交流課	3-1-②
85	3-2-①	プロ野球地元球団創設構想の 推進	将来的なプロ野球地元球団の創設に向け、市内で 開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の開催支 援等を行う。	プロ野球公式戦・オープン 戦開催支援1回以上	令和6年3月9日～13日にプロ 野球楽天イーグルスのオープン 戦全3試合の広報紙への掲載 や、市所管施設へのポスター等 の配布を行った。	5	開催期間中土日の試合で、小学 生招待企画も実施し、地域の子 どもたちに野球に興味を持って もらうような取組も行うことが できた。	市民野球熱の醸成に向け、新た に創設されたプロ野球球団「く ふうハヤテベンチャーズ静岡」を はじめ、市内で開催されるプロ 野球公式戦・オープン戦の広報 支援等を継続していく。	スポーツ交流課	3-1-②
86	3-2-①	清水日本平運動公園球技場 ネーミングライツパートナー企 業による地域貢献活動	清水日本平運動公園球技場のネーミングライツ パートナー企業が、当該契約に基づく球技場無償 使用权を利用した地域貢献活動(児童を対象とし たサッカー大会の開催支援等)を実施する。	年3回実施	ネーミングライツパートナー企 業が、小学生サッカー大会など、 年3回実施した。	5	第37回 全国少年少女草サッ カー大会 大会、第9回静岡障が い者サッカーフェスティバル大 会、IAIカップ静岡県チャイルド サッカー大会in日本平の3回実 施したことで目標を達成するこ とができた。	各大会主催者とネーミングライ ツパートナー企業との使用に関 する調整を継続して行ってい く。	スポーツ交流課	1-1-①
87	3-2-①	清水日本平運動公園球技場交 通問題等対策協議会の開催	エスパルスの安定的な活動を下支えするため、エ スパルスホームゲーム開催時のIAIスタジアム日 本平周辺の交通問題について、関係者が議論する 協議会を開催する。	年1回開催	令和5年2月9日(木)にIAIスタ ジアム日本平で日本平運動公園 球技場交通問題等対策協議会 を開催した。	5	地元自治会の方々と、課題につ いて協議できたことは評価でき る。	同協議会の場だけでなく日ごろ から周辺住民の声を聴き、スタ ジアム周辺の交通問題の解消に 取り組んでいく。	スポーツ交流課	2-1-①
88	3-2-①	静岡市サッカー祭り	サッカーの魅力発信や、「まちは劇場」の推進に向 け、静岡市サッカー協会とともに、フリースタイル フットボールコンテスト等を行うイベントを開催す る。	年1回開催	令和5 年10 月21 日(土) JR 東静岡駅北口広場にて開催	5	エスパルスバブリックビューイン グとの同時開催により多くの来 場者を迎えることができた。	市サッカー協会に協力し、サッ カーの普及・PRを通じてサッ カーのまちづくりを推進してい く。	スポーツ交流課	2-1-②
89	3-2-①	JFAこころのプロジェクト「夢 の教室」	日本サッカー協会と連携し、サッカーをはじめとし た様々な競技のトップアスリートを講師として、市 内の小学生に対し、夢に向かって努力することの 大切さを伝える特別授業を実施する。	年6クラス以上実施	市内小学校6校で実施し延べ 190人が参加した	5	市内6校の生徒に、夢を持つこ との素晴らしさ、それに向かっ て努力することの大切さを子ど もたちに伝えることができた。	より多くの子ども達に提供でき るよう実施クラスの選定方法や PR方法について検討していく。	スポーツ交流課	
90	3-2-①	サッカー日本代表 応援事業	「サッカーのまち」と称される本市において、国内 サッカーの最高峰である日本代表チームを積極的 に応援する各種事業を、フォッサ・サッカーのまち 市民協議会等と連携し実施する。	【ワールドカップ等大規模 大会開催年】 年1回以上開催	FIFA女子ワールドカップ オ ーストラリア&ニュージーランド 2023において日本代表応援 写真展実施 ① 令和5年7月13日(木)～8 月2日(水)静岡庁舎1階新館ロ ビー ② 令和5年8月2日(水)～8月 20日(日)清水ナショナルトレ ニングセンター	5	大会開催期間に合わせ、静岡庁 舎及び清水ナショナルトレー ニングセンターの2か所で実施で きた。	大規模大会開催時に使用する、 応援パネルの作成にあたり、日 本サッカー協会と連携しデータ の取得等を行っていく。	スポーツ交流課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
91	3-2-②	ホームタウンチームと 連携したスポーツ教室	子どもの健全育成や、各チームの応援機運醸成に向け、各チームの選手・コーチによるサッカー、バスケットボール等の技術指導や交流事業を行うスポーツ教室を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し開催する。	年2回以上開催	令和5年7月17日(月祝)に静岡市中央体育館にて実施	3	目標の年2回の開催は達成できなかったが、エスパルス、ベルテックスと連携し参加者がサッカー、バスケの2種目を体験することができ、子供たちがホームタウンチームとの関わりを持つことができた。	ホームタウンチーム8チームでの実施を計画する中で、チームのシーズン期間が違うため、選手派遣が可能な時期等を考慮した開催時期の検討が必要となる。	スポーツ交流課	1-1-①
92	3-2-②	巡回スポーツ教室	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園等の園児に対して、エスパルスクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った簡単な運動等を通して、身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えるスポーツ教室の開催を支援する。	年120園以上開催 延べ参加者数 3,000人以上	142 園(市内の公・私保育園及び公・私幼稚園) (葵区50 園・駿河区36 園・清水区55 園) 参加者:3,609 人(園児)	5	目標の年120園以上開催延べ参加者数 3,000人以上を達成した。	申込開始を可能な限り早期に行い、5月下旬の事業開始時期を早期、実施期間にゆとりを持たせられるよう調整していく。	スポーツ交流課	1-1-①
93	3-2-②	エスパルス アウェイゲーム パブリックビューイング	エスパルス観戦機会の創出や、「まちは劇場」の推進に向け、清水駅前や東静岡駅前等の広場で、エスパルスパウェイゲームのパブリックビューイングを開催する。	年1回開催 参加者数 1,000人以上	令和5年10 月21 日(土) JR東静岡北口広場にて実施。 来場者数2,325人	5	実施目標である1,000人以上を達成した。	試合観戦だけでなく、ほかに楽しめるコンテンツの同時開催の検討。より多くの人に周知するため、市の広報紙、SNS等に加え、FMHiやマリナル(コミュニティFM)、民間情報誌(リビング静岡)等を活用し、広域に告知を展開していく。	スポーツ交流課	2-1-②
94	3-2-②	指導者講習会	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園の保育士等に対して、エスパルスクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った運動方法等を教授する講習会の開催を支援する。	年1回以上開催 参加者数 10人以上	6月27日、7月21日の2回開催。延べ19人が参加した。	5	実施目標の年1回以上開催及び参加者数10人以上を達成した。	こども園の保育士等の出席しやすい日程で行えるように、エスパルスと検討を行っていく。	スポーツ交流課	2-2-①
95	3-2-②	エスパルス 地域交流応援事業	市民のエスパルス応援機運の醸成や、地域コミュニティの向上等に向け、エスパルスホームゲーム観戦企画の実施を支援する。	延べ2,100人以上来場	8/12 vs 山口 (バス1台・参加者11名) 8/19 vs 町田 (バス2台・参加者45名) 9/3 vs 徳島ヴォルティス戦は募集最低人数に達しなかったため中止	2	区ごとに優待日を設けバスツアーを実施したが、法規制の厳格化や2024年問題による価格の高騰により、参加人数が少なくなった。	エスパルスと連携し実施方法を根本的に見直すことで、より多くの市民交流が行えるような事業形態を検討していく。	スポーツ交流課	3-2-①
96	3-2-②	エスパルス 教育サポート事業 「エスプラス」	エスパルスや静岡大学・市内企業と協働した静岡版の魅力ある授業づくりを推進し、子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、エスパルスや地域への愛着醸成を図るための特別授業を実施する。	年10校以上開催 延べ参加者数 500人以上	静岡市内の小中学校15校で実施。延べ1,406人の生徒が参加した。	5	目標の年10校以上開催及び延べ参加者数500人以上を達成した。	エスパルス、市内企業と連携し、更なる内容の充実を図るよう協議していく。	スポーツ交流課	3-2-①
97	3-2-②	エスパルス オリジナルベビースタイ配布事業	エスパルスをきっかけとした子育て支援の推進に向け、市内で出生した赤ちゃんへのエスパルスオリジナルベビースタイの配布をする。	ベビースタイ配布 5,000枚以上	エスパルスオリジナルベビースタイを静岡市保健福祉センターと静岡助産師会及び清庵助産師会に5,200枚配布	5	目標の5,000枚以上配布できたことで、官民連携・地域ぐるみで子育てを支援することが図られた。	申込開始を早めることで、実施期間にゆとりを持たせられるようエスパルスと調整していく。	スポーツ交流課	3-2-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
98	3-2-②	エスパルスを活用した 各種PR活動	庁内各課の施策・事業について、エスパルスホームゲームにおける大型電光掲示板での放映やブース出展等でPRを行う。また、エスパルス選手写真・ロゴ等を庁内各課の啓発ポスター・チラシ等に使用しPRを行う。	40件以上活動	令和5年度活動実績 45件	5	目標としている活動件数を上回ったほか、エスパルスホームゲームへの来場者数も1試合あたり14,000人以上であったことから、PR効果が高かった。	PRコンテンツが固定化してきているため、新たに連携できそうな庁内各課等の事業を掘り起こしていく。	スポーツ交流課	3-2-①
99	3-2-②	フォッサ・サッカーのまち市民協議会活動支援	サッカーを活かしたまちづくりや、ホームタウンチームを組織的に支援する「フォッサ・サッカーのまち市民協議会」の活動を支援する。	PRイベント 年1回開催 啓発品 年1品目作成	PRイベント オレンジスポーツフィールド 1回開催(来場者5,000人) 啓発品 トートバック(700個)作成	5	PRイベントをエスパルスの出陣式と連携して同時開催したこと、多くの市民にホームタウンチームのPRができた。	ホームタウンチームが増えてきている状況の中、各チームとの更なる連携調整が必要となる。	スポーツ交流課	3-2-①
100	3-2-②	エスパルス ホームゲームへの 市内小中学生招待事業	エスパルス観戦機会の創出や、子どもの健全育成に向け、市内の全小中学生を対象としたエスパルスホームゲームへの招待事業の実施を支援する。	延べ800人以上 来場	4月29日、5月7日の2回実施し延べ1,283人来場した。	5	目標の延べ800人以上を達成した。	小中学生の参加者を増やせるようPR時期や周知方法をエスパルスと協議していく	スポーツ交流課	
101	3-2-②	ホームタウンチーム選手・マスコット等の市事業・イベントへの派遣	エスパルスをきっかけとした賑わい創出やコミュニティ機能の向上、ホームタウンチームに触れる機会の創出に向け、市事業・イベントに、ホームタウンチームの選手やコーチ、マスコット、チアリーダー等を派遣する。	年25回以上派遣	・選手等派遣事業 9回 ・親子運動教室 12回 ・キッズパーク 2回 ・わくわくバスケ 2回	5	庁内各課等が行う幅広い分野の事業に選手等の派遣を行ったほか、子どもたちを対象とした普及活動によりホームタウンチームに触れる機会を創出した。	既存チームの派遣を引き続き取り組んでいくとともに、新しいチームについても同様の取り組みができるようチームと協議していく。	スポーツ交流課	
102	3-2-②	ホームタウンチーム 活用推進事業	エスパルスをはじめとするホームタウンチームの発信力・求心力を活かし、市とクラブの提携によってスポーツの力で地域の課題解決等を推進する。	年1事業以上実施	ホームゲーム活用事業として、9月3日にエスパルス、12月9、10日にベルテックスのホームゲームで両チームのコラボタオルの配布と併せて市の魅力PRを実施した。	5	目標の1事業以上実施でき、各チームのホームゲームでは、来場者(約1万7千人)に対し、市の魅力をPRできたことは評価できる。	現在の形態にとらわれず、より効果的な方法を検討し実施していく。	スポーツ交流課	
103	3-2-②	オレンジ化推進事業	まちなかの賑わい創出や、エスパルスに触れる機会の創出に向け、エスパルスやベルテックスのチームカラーであるオレンジ色のバナーやフラッグ、横断幕等を駅前や商店街、市庁舎等に掲出する。	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	5	駅前という市の玄関口にバナーを掲出しており、市内外の多くの市民にスポーツのまちをPRできている。	まちなかでのバナー等の掲出は非常に効果が高いことから引き続き実施していく。	スポーツ交流課	
104	3-2-②	エスパルス ホームタウンコーナーの設置	エスパルスに関する情報を広く発信するため、各区役所に専用コーナーを設け、エスパルスの関連情報の掲出やグッズ等を展示する。	常設3ヶ所設置	葵・駿河・清水の各区役所にそれぞれ1か所設置した。	5	各コーナーでは、試合結果だけでなく、各チームと地域・行政との連携事業等についても情報発信しており、市民のチームに対する愛着増進に寄与していると考えられる。	ホームタウンチームが増えているため、すべてのチームを対象としたホームタウンコーナーとして更新していく。	スポーツ交流課	
105	3-2-②	民間教育力活用事業へのホームタウンチームの協力	依頼のあった学校に民間教育力活用事業の登録講師である清水エスパルスやベルテックス静岡の選手・コーチ等を派遣して、学習の充実を図る。	学校の要請に応じて実施	令和5年9月29日と令和5年11月21日の2回、ベルテックス静岡へ民間教育力活用事業の登録講師の派遣を要請した。	5	学校の要請に応じて実施した。学校の要望する内容に沿い、講話を行い、学習の充実を図った。	より多くの学校が講師派遣を活用できるよう学校への周知を行う。	学校教育課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

施策の柱:2 ホームタウン活動の推進

基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
106	3-2-②	プロスポーツチーム等連携プロジェクト	企業版ふるさと納税を活用し、本市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携し、スポーツが持つ力により、誰もが健康で心が満たされるまちづくりを推進する。	継続実施	・静岡ジェードへのスタートアップ支援として、チーム活動に用いる備品購入や、Tリーグのホームゲーム開催に必要な会場、設備等の借用に係る経費に対し、補助金を交付した。 ・企業版ふるさと納税を獲得するための市外企業への渉外活動を各チームと連携して実施した。	5	事業を継続実施することで、各チームと連携して獲得した企業版ふるさと納税を財源に、スタートアップ支援やスポーツ施設の整備を加速させることができている。各チームの活用・支援を通じた社会全体の協働・共創によるまちづくりに寄与していることは評価できる。	これまで、大都市圏の大手企業からの寄附が多く、このような企業との繋がりを持つチームとの連携事業に寄附が集中しているため、渉外活動の中でこのような繋がり薄いチームとの連携事業のPRにも力を入れていく。また、寄附希望者に対して寄附を充当する連携事業のイメージを具体的に伝えられるよう、各チームの意向をヒアリング等により掘り起こしてアピールし、寄附の獲得に繋げていく。	スポーツ交流課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

新規事業

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和5年度					
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	担当課	関連
	3-2-②	プロ野球球団連携推進プロジェクト	スタートアップ段階にあるくふうハヤテの本拠地化を推進すると共に、ホームゲームを活かした球場周辺の経済活性化や、ハヤテグループを活用した地域振興を図る。	年間平均集客1000人以上						